

## 令和4年度「学生による授業評価」の学科間比較

本校では、「学生による授業評価実施に関する申し合わせ」に従い、毎年、授業終了前後に、学生は受講した授業（講義、演習、実習等）に関してそれらの内容を評価している。その評価用紙のひとつ（様式1）を図1に示した。

**図1. 学生による授業評価用紙(様式1)**

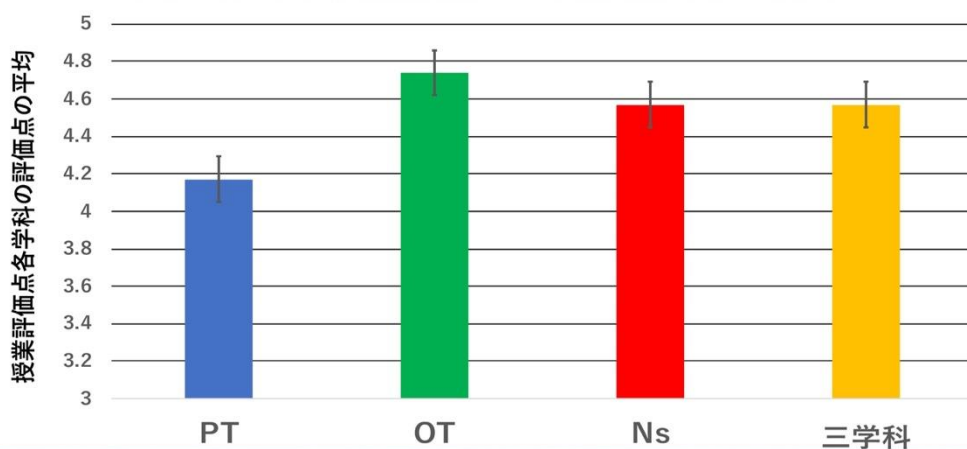
学生による授業評価 (令和4年XX学科XX年生):実施日:R5年XX月XX日								
科目名	XXXX	教員名	XXXX	強く思う(5)	やや思う(4)	どちらともいえない(3)	あまりそう思えない(2)	まったくそう思えない(1)
履修態度	Q1.事前に十分な予習をしましたか。			5	4	3	2	1
	Q2.授業に毎回積極的に参加しましたか。			5	4	3	2	1
	Q3.授業中に講義内容を理解する為の努力をしましたか。			5	4	3	2	1
	Q4.毎回講義の復習を十分にしましたか。			5	4	3	2	1
目標達成	Q5.最終的に講義の目標を達成することができましたか。			5	4	3	2	1
科目内容	Q6.あなたにとって講義全体の難易度は適切でしたか。			5	4	3	2	1
	Q7.講義を履修することで学習意欲は増しましたか。			5	4	3	2	1
総合評価	Q8.この講義は全体として満足出来るものでしたか。			5	4	3	2	1
自由記載欄	Q9.講義に対する意見やコメントがありましたら、ご自由に記載願います。							

評価を受ける教員にとっては、授業評価の質問項目をより多くした別の評価用紙を希望することもある。評価を受けた後は、今後の授業改善に関する考え方を学生に説明すると共に、学科長を通じてあるいは直接、評価結果を校長に提出する。

校長は、それらの結果を取りまとめ、図2に示すように授業評価の結果をグラフ化し、HP等で公開してきた。学生全員の評価点の平均が4.5以上になると、一般にかなりの高得点といえ、学生の満足度は極めて高いと考えられる。逆に、3.0以下であると、授業の改善が大いに必要な状況といえる。

本校では、各教員が真摯に授業に取り組み、授業後の質問対応なども丁寧に対応しているため、全体の平均点が4.5を超えたと推測される。ちなみに、授業評価は5点満点である。

**図2. 学生による授業評価の学科間比較 (2022年度)**



授業評価点の学校平均は4.57であり、看護学科の平均点とほぼ同じであった。三学科別では、OTが最も評価の平均点が高かった。ただ、学校平均点が4.5点を超えるということは、授業への取り組みがしっかりと学生目線となされた結果と考えられ、授業改善は良好に進んでいると推察される。※ 学生による授業評価は5点満点。